

観葉植物としても人気
① **コーヒーノキ**【アカネ科】
学名: *Coffea arabica*



←コーヒーノキの花

花は小さく白色で、開花後2ヶ月ほどで緑色の果実になり、熟すにしたがって赤色から紫色に変化します。赤い果実がさくらんぼに似ているため、「コーヒーチェリー」とも呼ばれます。発酵させた果実から採った種子を焙煎し、コーヒー豆を作ります。光沢があり波打つ葉が美しいので、観葉植物としても人気があります。

果実の断面が星型☆で可愛い

② **ゴレンシ**【カタバミ科】 学名: *Averrhoa carambola*
★ピンク色の小花を多数つけた花序を、枝や幹につけます。その後、薄緑色の果実が枝にぶら下がるようにつき、熟すと黄色に変わります。



果実を輪切りにすると断面が星型になるため、「スターフルーツ」とも呼ばれています。

ビタミンCやペクチンが豊富で、熱帯では果実を生食するのももちろんのこと、漬物や甘く煮付けたお菓子にして食べられています。

ぐんぐん成長中!

「世界最大級の花」を付ける

③ **ショクダイオオコンニャク**【サトイモ科】
学名: *Amorphophallus titanum*



インドネシアのスマトラ島の限られた場所にしか生育しない貴重な植物です。花が最大で高さ3mにもなるとされ、花序をひとつの花とみなした場合には世界最大の花を咲かせます。

私たちが普段食べているコンニャクのなかまで、地下にある球根(球茎)から最大で6mにもなる葉を一枚だけ垂直につくします。

球根が十分に成長すると、6か月ほど休眠のちに花だけを咲かせます。花は2日間しか開花せず、1日目は発熱し湯気とともに悪臭を放ち、受粉する昆虫を呼び寄せます。



すくすく育ってね!

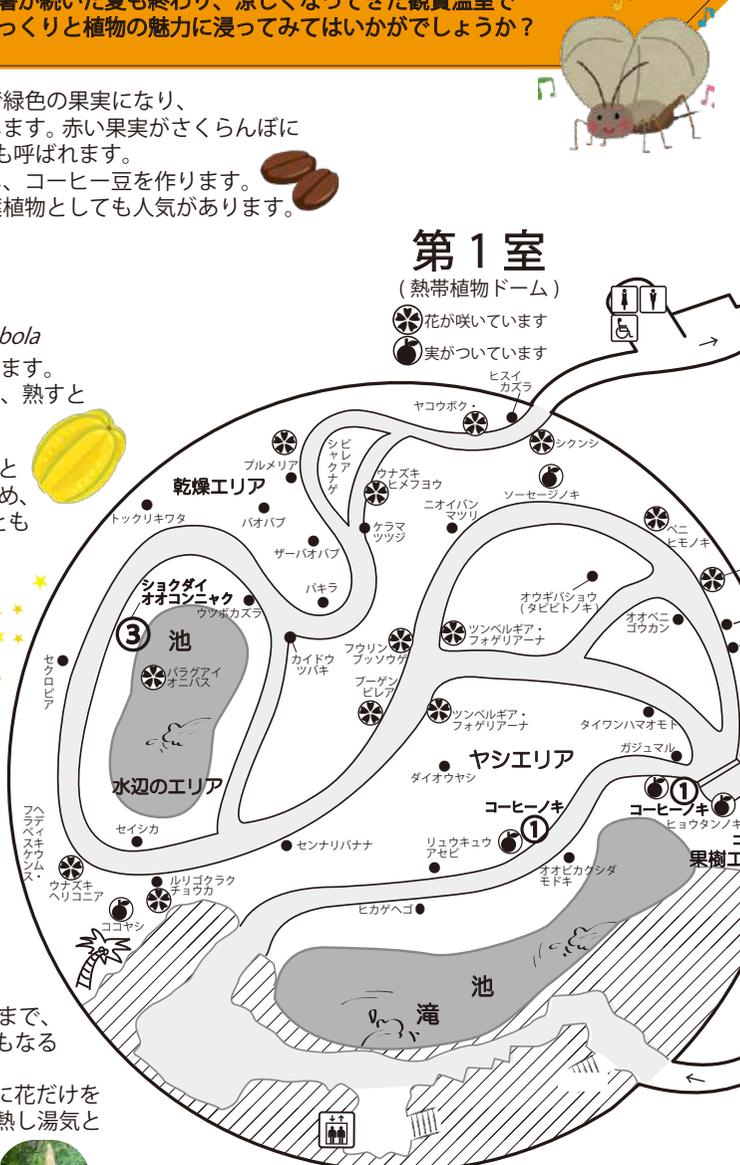


←開花したときの様子。
当園では2022年8月14日に初開花しました。
北陸地方初、日本最北での開花!!

ただいま次の開花を目指し、大切に管理中です。

新潟県立植物園 2023年10月・11月 温室みどころマップ

猛暑が続いた夏も終わり、涼しくなってきた観賞温室でゆっくりと植物の魅力に浸ってみてはいかがでしょうか?



第1室

(熱帯植物ドーム)

- 花が咲いています
- 実がついています

第2室

植物の魅力を紹介する企画展示を開催。
大人気の水中庭園では多様な水草を展示。

「飲む発酵展～7つの健康パワー～」

9月14日(土)～11月19日(日)

私たちの生活のすぐそばにある植物。

先人たちが昔から様々なものをよりよく利用するために取り入れてきた「発酵」。この展示では「飲む」をキーワードに、コーヒーやチョコレートなど7つの食品と発酵の不思議な関係を解説します。身近な発酵について知識を深めてみませんか?そして健康パワーで元気いっぱい!



「クリスマス展」



11月22日(土)～12月26日(火)

ポインセチア、シクラメンなどクリスマスシーズンに楽しめる植物、モミの木を生木を使ったクリスマスツリーとクリスマスイルミネーションで会場内を彩ります。クリスマス気分が高まる展示です!

第2室 (企画展示)

第3室

『作品展示』では植物に関連した活動を行っている団体や個人の作品を展示。体験教室や「おやこ植物園」はこちらの温室です。

おやこ植物園

植物の観察、工作などをおやこで体験するエリアです。
対象:小学生以下のお子さまとその保護者の方
開館日時:温室開館日と同じ
(ホームページをご確認ください)
10:00～15:00

体験料:体験内容により異なります。
参加方法:
当日温室入館券売り場で申し込みください。
※混雑時は入場制限する場合がございます。
※ご不明な点はお問い合わせください。

作品展示

「はなはっぱみ展」(植物をテーマにした粘土、絵画、切り絵の展示)
9月20日(土)～10月9日(月)祝 はなはっぱみ製作委員会

「ハーブアラカルト」(ハーブの展示)
10月11日(土)～10月30日(月) ジャパンハーブソサエティー新潟支部

「大切に、したいもの。」香りにまつわる、ものづくり
(県産の樹木から抽出した香りや工芸品の展示)
11月1日(土)～11月19日(日) HATSUME(はつめ)

「ドライフラワーデザイン展」(ドライフラワーやプリザーブドフラワーの作品展示)
11月22日(土)～12月11日(月) Flower Studio & Shop はな舞